

恐竜公園オリエンテーリング大会 2011年5月15日 長野県長野市

## 薫風の中、激しいオリエンテーリングをデモンストレーション

2011年5月15日 長野県長野市  
茶臼山フェスティバル・恐竜公園大会

清泉女学院大学の授業の一環としてオリエンテーリングへの参加があった。学生たちに競技説明を行う、コースプランナーの小林隆昭（長野県協会）。目の前には満開のツツジ、眼下には新緑の川中島が広がる。

## 結果ウルトラコース 4km

1 木村佳司	0:31:40	長野県協会
2 丸山茂樹	0:32:43	長野県協会
3 黒田幹朗	0:37:00	長野県協会

## 結果スーパーコース 3.5km

1 山本陽子	0:53:10	東京都
2 橋本ひかる	1:04:00	群馬県
3 倉澤勝美	1:10:00	上田市

## 人多過ぎ

今回は地元イベントの枠組みの中でオリエンテーリング競技が行われた。「茶臼山フェスティバル」の広告宣伝が地元で大々的に行われ、さらに当日は雲ひとつない晴天に恵まれたこともあって会場の人出はすごかった。イベントの多くのワークショップには受付待ち行列ができた。

レース中も、とにかく人が多かった。人にぶつからないように競技することが参加者に求められた。コースの中盤には茶臼山フェスティバルの「流しそうめん」待ち行列の横を抜け、多くの人にオリエンテーリングの激しい姿をデモンストレーションしてしまった。

トレイン・コースはパーク0。しかしトレイン自体が山の片斜面にあることからパーク0にしてはタフなコース。

ガッツで登り、スピードに乗って下ってくると、トレインのあちこちにある芝生広場ではイベントの人ごみ。人ごみを通過するときは森の中の直進より気を使う。進路を遮るのは人ばかりではない。実物大の恐竜模型がトレインのあちこちにあり、トラップのように恐竜の子供や卵が地面に仕掛けてある。とってもスリリングである。

オリエンテーリングを楽しみ、地元名物を食べまくり、実物大の恐竜模型で遊ぶ。家族連れには楽しいイベントとなった。



参加者にインタビューを行う地元メディア

## 前日には長野練習会

この大会前日の5月14日には長野県協会の総会（懇親会）を行った。といっても長野県協会の総会前には恒例の練習会が行われる。今回は長野市北部の三登山にトレイルランニングだ。がっつき走り、話し、イベントもこなす。規模は小さいが活動はとても濃い。

(木村佳司)



満開のツツジの前で、家族連れ・一般者を対象に競技説明する美谷島会長



茶臼山フェスティバルに詰めかけた多くの家族連れ。